
私達の宝物

mama'sハッピー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私達の宝物

【ZID】

Z0831D

【作者名】

mama-sハッピー

【あらすじ】

『流産』から学んだ事どん底から這い上がって前向きに暮らししている2人の気持ちの変化を感じられます

私はこの夏、流産を経験しました

『流産』という言葉を耳にしたことがあっても実際経験することで『流産』は人生において悲しい出来事でもあるし色々な意味で前進、成長させてくれる大切な意味のあることに気付く事が出来ました。

私の体験は幸せから挫折そして前向きな気持ちへと変化していきました。

付き合つて三年で結婚、退職、家を購入、結婚式、あまりに幸せ絶頂で少し怖さを感じていたある日願つていた妊娠発覚？喜びでいっぱいになりました！彼もとても喜んでくれてその顔を見ることがとても嬉しかつた！それからは全くない知識を得ようと沢山本を読みました。

読めば読むほど不安は大きくなり妊娠生活は一つ一つ難関を突破していくかなければいけないことに気づきました妊娠できたことの第一関門突破！に喜んでいました！一週間後初の病院へ行き妊娠発覚（第2関門突破）二週間後の二回目の検査で赤ちゃんの心拍を確認！ホッとして2人で泣いた…ただ周期からいつ赤ちゃんの小ささに疑問を感じ…ハツキリ見えたわけではない心拍に不安を感じたまま先生のおめでとうございます！に安心していました。ちょっと小さいから排卵が遅れていたのかな…？と言われ体全身で喜ぶことができなかつたあの時の気持ちが予感的中だつたとは知らず…心拍確認できたことでお互いの家族に報告。親しい友人にも報告。みんなに祝福され嬉しかつた！

3度目の検査の三日前あと三日で予定日がわかるかな…とワクワクしていたらトイレで茶色い出血？のようなものを発見…一気に不安と焦りで気持ちが落ち着かなくなり病院に電話。次の日来るように言われた。不安で不安で寝ることができなかつた。次の日会社を休

んでくれて2人で朝一で病院へ

待合室では不安で不安で具合が悪くなりそうだつた…名前を呼ばれ2人で中へ…確認できていた心拍がなく赤ちゃんは死んでしまつたのだ…受け入れられず涙でいっぱいになつた。

先生の説明をうけている間これが血の気がひくというのが何かがグアツと上がつてきて倒れそうになつた。

あとのことはあまり覚えていない。

気持ちを落ち着かせるため個室に案内され2人で泣いた。泣いて泣いて泣きまくつた。

私は泣きながら何度も「ごめんね」と言つていた。

入院の手続きを済ませ一度家に帰つた。

帰りの車も2人で放心状態。

ずっと泣いていた。

やつぱり簡単には受け入れられないよ…喜んでいた顔をみて嬉しかつたのに悲しみでいっぱいの顔を見るのがつらい…なんでこんなことになつちゃつたんだろう…悲しみでいっぱいのまま夕方から入院…夜までずっと側にいてくれた…夜は別々に寝た。

結婚して初めて別々に過ごす夜不安で不安で涙がとまらない。

きっと主人も同じように一人で泣いていると思うと余計な涙が溢れてくれる。

次の日の朝手術。

初めての手術台。

怖かつた。ただ赤ちゃんがお腹にいる最後の時間を大切に思つた。

点滴をうち麻醉入つてからは私が気づいたときにはベッドに帰つてきていた。お腹が痛かつた…ただ痛みもなくわからないうちに手術はすみ私の体は空っぽになつた…退院母と一緒に家へ…何も喋れない…全部が空っぽになつてしまつた…母はご飯を作つてくれて帰つていつた…仕事が終わつて主人が帰つてきて頑張つたね。とギュッとしてもらつてまた2人で大泣きした。何も食べられず2人でボー

つとしながら沢山語つた。お互いが思つてゐる気持ち…沢山話しているうちに赤ちゃんが私達に教えてくれたことがわかつてきた…私達に足りない物や私が不安に思つてゐる気持ち…2人にとつてダメなところを全部とつて持つていつてくれたんだ！と…私にはもう主人にたいしても不安は何もない…お互い思つてゐる気持ちを話して私達2人の絆をもつと強めてくれた…お互いの嫌な気持ち…不安に思つてゐる気持ち赤ちゃんはわかつていたんだ…赤ちゃんがお空にいつてしまつたのには意味がある。ちゃんと私達にきづかせに来てくれたんだ…それに気づいたときまた涙が溢れてきた…そして悲しみからありがとうと感謝の気持ちへとかわつた…写真では豆粒ほどしかなかつた赤ちゃん…けど私達の絆を強めてくれて大切な事を教えてくれた…あんな小さくても大きな事を教えてくれた…私達の赤ちゃんはすごいよ！本当にそう思つた妊娠を伝えたみんなに報告し励ましのメールがみんなから届いた…まだ誰とも話せないし会えない…気持ちが落ち着いたらゆっくりもとの生活に戻りたい…嫌でも主人は会社にいつて人会わなくちゃいけなくつらいはずなのに私に優しくしてくれる。

そんな優しさに感謝の気持ちでいっぱいになつた。

私は携帯で『流産』を検索してみた。

ビックリした…同じ経験をした人達が沢山書き込んでいてこんなに沢山同じ気持ちの人がいるなんて知らなかつた…一つ一つ呼んでいふると同じ気持ちで大切な事を残してくれた赤ちゃんがいるみんなが強くなつていてることがわかりみんな前向きになつていて…みんな前向きにこれからも頑張ろうとしている…私も同じ気持ちになつた…今まで身近に流産した人や妊娠できずつらい思いをしている人がいて気持ちを感じながら『頑張ろう！』と慰めていたけれどやつぱり体験をして同じ気持ちになつて初めてこんなに辛いんだ…こんなどん底までいつて悲しみでいっぱいになるなんて知らなかつた…私達はそんな人達の悲しい気持ちも本当にわかるようになりそして何よりも優しい気持ちになれたような気がする…みんな人には言えない

色々な悩みを抱えて生きているんだ…人の痛みが少しでもわかる人間になれた事を嬉しく思う。

何不自由なく子宝にも恵まれ幸せそうに暮らしている人達だつてきっと辛い時期を乗り越えてきたんだ…頑張っている人には頑張つてる分だけ幸せが舞い降りてくる!そんな気持ちを教えてくれたのも赤ちゃん!今回の経験はマイナスではない。

私達の人生にとつてプラスになった…このプラスの気持ちが前向きにさせてくれる!初めての挫折…悲しいし辛い!けど何かしらきっと意味がある!その何かに気づけたときどんどん前に進んでいけるんだと気づけた!私達は周りの人の優しさ…同じ思いをした人達…周りの環境…沢山沢山感謝し毎日を過ごしていこう!と誓つた!捉え方は人それぞれだと思う!ただ人を妬んだり恨んだりするより何かを感じとれたほうが一步前進できるつてことを伝えたかった!私達の大切な宝物『赤ちゃん』を忘れず…そしていつかこの腕に赤ちゃんを抱ける日までみんなの笑顔を見れる時まで努力し前向きに頑張つていこうと思う!これを呼んでくれた人達へ同じ思いの人や周りに同じ思いをしてる人がいるかもしれない!こういう気持ちもあるんだと知つていただきたかつた…私達もわからなかつたように…心優しくなれた事に感謝しこれからも忘れず強く生きていこう。

(後書き)

共感しあつたり気持ちを少しでもわかつていただきたく掲載しました
あつたかい気持ちになつていただけたら幸せです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0831d/>

私達の宝物

2010年10月15日20時16分発行